



## 皆さんとお別れが近づいています（3年生）！

いよいよ、3年生の皆さんが、田尻町立中学校を巣立っていく日が迫ってきました。2年生の時に、校外学習でコリアタウンへ行き、お昼と一緒に食べ歩きをした時のことや、クラブの試合で、先輩を支えて必死に戦っていた時の姿を思い出しています。今思えば、あの頃はまだ、幼いところも残っていましたね。そんな皆さんが、6月の修学旅行を終え、8月にクラブを引退してからの半年間は、次の進路に向かって、黙々と勉強している姿をいつも見ていました。卒業式を前にして、今週の水曜日には、大阪府公立高等学校一般選抜試験に臨む人もたくさんいます。最後の力を振り絞って、頑張ってください。皆さんが、これまで努力してきた様子を見ていて、十分な力をつけていると確信しています。自信を持って試験に臨んでください。

## 人の世に出逢いがあるから素晴らしく、別れがあるから美しい！

この言葉は、去年卒業した人たちにも伝えました。皆さんは、3年生になってからの1年間で、心身ともに成長しました。今週末でお別れすることになると思うと、寂しい気持ちで一杯です。ですが、人の世には、必ず別れが来ます。その別れは、悲しいものではなく美しいものであってほしいと願っています。田尻中学校の先生と在校生の皆が、卒業していく皆さんに素晴らしい出逢いが訪れることを祈っています。



## 皆で3年生送る会をしました！

3月6日（金）に、体育館に全校生徒と教職員が集まって、生徒会主催で3年生を送る会が行われました。目的は、「①様々な場面で後輩を引っ張り、支えてくれた3年生に感謝の想いを伝える場を作りたい。②3年生が思い出に浸り、ホッとできる場を提供したい。」でした。生徒会役員5名の司会進行のもとに、大きな拍手に迎えられて、3年生が入場しました。最初の企画は、生徒会企画「スクールマスタークイズ」で、「ラケットで一度もピン球を落とさずに一番多くバウンドさせられたのは誰だ？」など、手作りのユニークなクイズで大盛り上がりでした。続いては、「懐かしき先生方から3年生へ向けたビデオレター」企画でした。最後は、今いる先生方から3年生への贈り物企画で、先生たちによる心のこもったダンス動画で、3年生の皆さんは、大喜びしてくれました。

そして、贈り物企画「ダンス動画」の後には、在校生から卒業生へ「手作りコサージュ（1年生制作）」と「手作りフォトフレーム（2年生制作）」がプレゼントされました。1・2年生の皆さん、ありがとうございました。



## 1・2年生がチャレンジテストで高得点！

1月14日（水）に実施した令和7年度大阪府中学生チャレンジテスト（1・2年生）の結果が届きました。田尻中の1年生は、国語・数学・英語の3教科、2年生は、国語・社会・数学・理科・英語の5教科にチャレンジしました。このテストは、それぞれの学年が公立高校を受験する際に、内申点の学校基準を決める重要なテストです。田尻中学校の1年生・2年生は、大阪府の平均に対して5~7ポイントも上回る結果で、大変優秀な結果を出しました。



3学期の期末テストを受ける1年生

## 田尻中の生徒が地域行事で活躍しました！

### 【たじりっこ安全フェスタ】

2月28日（土）に、田尻町立小学校で、「たじりっこ安全フェスタ」が開催されました。当日は、エンゼル・小学校・中学校から約40名の児童生徒が参加し、自転車安全講習・高齢者疑似体験・車いす体験。交通安全のDVD鑑賞などを行いました。4月から、道路交通法の改正により、自転車も青切符が切られる時でもあるので、正しい自転車の乗り方や自転車による交通事故についてDVDによる疑似体験など、それぞれが命を守るために必要なことを学びました。中学校からは、女子バスケットボール部の8名が参加してくれ、頼もしく思いました。この日は、縁日あそびも開催され、スーパーボールすくいや輪投げ、フーセン釣りなどもあり、楽しい時間も過ごせました。



### 【たじりワイワイフェスタ2026】

翌日の3月1日（日）には、「たじりワイワイフェスタ2026」が田尻町の公民館で開催されました。今年のワイワイフェスタは、田尻町青少年指導委員会設立50周年記念として実施されました。オープニングは、田尻町が生んだ漫才コンビのスカイブリッジさんによる「漫才・MC」があり、大いに盛り上がりしました。続いて、クラシックバレエジゼルさんの可憐なバレエダンスが披露された後、中学生バンド「グリーンピース」の5人による演奏2曲が披露されました。とてもクオリティーの高い演奏で感動しました。普段から見えないところで練習を重ねてきたのが伝わりました。これからの活躍に期待したいです。



スカイブリッジさん



中学生バンド「グリーンピース」

（校長 池本 勝利）

## PTAより

今年度もPTA活動にご理解・ご協力ありがとうございました。

PTA研修会や給食試食会など有意義な活動ができました。3月にはPTA新聞「泉風」を発行いたします。田尻町PTA広報「ふれあい」も合わせてご覧ください。来年度もよろしく申し上げます。

## 学年諸費納入金の振替日について

今月の諸費振替日は、3/9(月) 再振替日は、3/27(金)です。1・2年生の保護者の皆様、よろしくお願いいたします。

## 3月の予定

3/10(火)	【3年生】中学校最後の給食
3/11(水)	【3年生】公立一般選抜 学力検査
3/12(木)	卒業式予行・準備
3/13(金)	第79回卒業証書授与式
3/17(火)	【1・2年生】期末懇談会 ~18(水)・19(木)・23(月)4日間
3/19(木)	【3年生】公立一般選抜 合格発表
3/20(金)	春分の日
3/24(火)	修了式
3/25(水)	春季休業開始(~4/7)

## 目の前の現実と、背景にこめられた心

私たちが暮らす現代は、便利な技術に基づいた製品やサービスに囲まれています。この中で生まれ育った私たちは、この状態を「当たり前のこと」と感じて、疑いなく暮らしている人が多いと思います。

世の中に存在する物のほとんどは、必ず作り手(生産者)がいます。また、商品は流通業者によって生産者から消費者まで届けられます貿易や運送に係る人のおかげで、私たちの衣食住が成立しています。

それらは必ずしも目に見えるものばかりではありません。

例えば電力や磁力。発電によって得たエネルギーを使った照明や空調機器などの家庭電化製品やPC・スマホなどの通信機器は、もはやそれ無しでは生きていけません。また磁力も、引き合ったり離れ合ったり

する磁気の性質を応用して、生活や医療の中で活躍しています。特に医療界では体内の検査に用いるMRIや血行を促進する効果があります。磁力は発電にも用いられるため、両者の関係はとても密接です。

この通信を通して何度か述べてきましたが、現代の生活環境は当たり前前に存在するものではありません。自然の猛威や政治、経済状況の歯車がひとたびバランスを失えば、成り立たなくなってしまうのです。

ここで、改めてこれらのものは生産やサービスに関わる人の心に目を向けたいものです。生産や製造にかかわる企業の人たちは、「安心して便利に生活してほしい」と願って商品の研究開発に情熱を傾けています。そこには私たちの想像を超える努力や気持ちが込められています。

しかしながら、相手が心で本当に思っていることは見えません。同じように、自分が心の中で感じていることも、相手や周囲には見えません。私たちは言葉を介して相手の思いを知る事や、自分の考えを伝える事ができます。だからこそ発する言葉は適切であり、相手を思いやった言葉遣いが重要です。

また、言葉だけに頼るのではなく、見えないものであっても自分の心にアンテナを張り、自分の生活を支えてくれる周囲の存在に気づき、感謝できる人間でありたいものです。3年生はいよいよ卒業を迎え、田尻町を巣立っていきます。また1・2年生は次の学年に進級します。この機会に今一度、今の環境のありがたさを感じてほしいと願います。



一つ事例をご紹介します。ある日の放課後のこと。生徒が教室に忘れ物をしたので一緒に教室向かいました。ベテランの先輩教師が担任する教室を開けたその瞬間、当時、教師2年目だった私の背筋に衝撃が走りました。もう20年以上前のことです。

教室がものすごくきれいに整備されていたのです。ゴミ一つ落ちていない床。きれいに磨かれた黒板。チョークの後や拭き残しはもちろんありません。そして、1mmのずれもなく整然と並べられた机・椅子。さらには、等間隔に整然と取り付けられた賞状やお知らせといった掲示物…。

生徒が清掃した後、担任の先生が愛情をこめて丁寧に仕上げされていたことが伝わってきました。これなら、翌日生徒が教室に入った時、すがすがしい気持ちになり、「今日も一日頑張ろう」と背筋が伸びるきっかけにもなります。生徒の心の安心基地としての教室、そして学びの場としての規律を整える気迫と愛情の深さを目の当たりにしました。担任としてスタートしたばかりの私にとって、「これが教師のプロの仕事なのか!」と痛感した出来事でした。

…きっと皆さんと関わっている先生方も、これと同じような思いや環境づくりをしているはずです。日々の職員室では朝早くから授業準備に取りかかっている先生や夜遅くまで入念に翌日の打ち合わせをしている先生方がいます。

給食もあと数回で今年度も終了ですが、毎朝早く食材を運んでくれる業者の方々、暑い夏も懸命に調理する給食場の方々の存在にも感謝です。

そして、毎日の食事、衣服の洗濯、必要品の購入など、身を粉にして働き、生活を支えてくれている家族の存在。どれをとってもあなたたちを思っていることです。

目に見える環境が当たり前ではない。たとえ見えないものであっても、私たちに「見ようとする力」が必要でしょう。目の前の現実と、その背景に込められ心に気づくことができれば、感謝の気持ちが生まれます。すると、それを言葉で伝えたり、行動で応えることが成長であり、大人に近づくことになります。田尻中の皆さん、今後の成長、大いに期待しています。

(教頭 横井武志)